

福島県相双農林事務所 「相双地方ならではの農林水産業の再生を目指して～地域に寄り添った復興の推進～」 令和8年4月10日



農山村地域復興基盤総合整備事業
矢川原地区（南相馬市）



パックご飯製造工場（楢葉町）



地域計画策定座談会（富岡町）



福島再生加速化交付金
大規模酪農施設（浪江町）



福島再生加速化交付金
タマネギ乾燥貯蔵施設（富岡町）



ふくしま森林再生事業
（南相馬市）



海岸防災林 浪江地区
（浪江町）

農林水産業振興計画の基本目標

「もうかる」「誇れる」共に創るふくしまの農林水産業と農山漁村

施策の達成度を測る指標R8年度目標値

①営農再開率61% ②新規就農者数63人以上／年 ③ほ場整備率75.0% ④森林整備面積630ha／年

※④はR7目標値

振興方向（具体的な取組概要）

I 東日本大震災及び原子力災害からの復興

- 津波被災地の営農再開可能面積[14地区]1,632ha/1,867ha(87%)【R7実績】
- 農地・用排水路・ため池等の復旧率 97%(856箇所/881箇所)【R7実績】
- 福島県営農再開支援事業により営農再開を支援(19億円)【R7実績見込】
- 海岸防災林の整備[8地区]593ha/602ha(事業費ベース進捗率98.5%)【R7実績】
- 「ふくしま森林再生事業」活用による計画的な森林整備による森林の再生と「森林経営計画」策定支援【R6実績】422ha・累計:4,128ha(うち県営445ha)
- ほだ木等原林木の再生に必要な伐採、植栽、下刈り、作業道設置の一体的な実施(広葉樹林再生事業)を推進、取組町村:新地町(R6～R7)飯館村(R5～R7)、取組面積約2.4ha(全体計画184ha)【R7実績】

II 持続的な発展を支える生産基盤の整備と担い手確保

- 地域計画策定 相馬地方(62地区/62地区)、双葉地方(45地区/52地区)【R7実績】
- 相双地方の魅力を発信し、復興・創生を支える多様な担い手を県内外から確保
・新規就農者数R7:58人(H23～R6平均:20人)【R7実績】
- 認定農業者等に対する経営改善(所得目標の8割以上達成者率)50%・法人化支援3件
- 復興基盤総合整備事業等53地区(4,182ha)でほ場整備を推進【R7実績】
・着手済:44地区(3,767ha)、計画中・検討中:4地区(184ha)・5地区(231ha)
(うち完了18地区・1,890ha、左のうちR7完了6地区・526.2ha)
- 森林施業に要する「林道」、「林業専用道」及び「森林作業道」の整備を推進
・35,793m(暫定値)【R7実績】
- 管内製材加工業者、林業経営体等と需要量や品質に関する情報交換への支援
・素材生産量は直近5ヵ年の平均が7万8千㎡で、震災前5ヵ年平均の103%

III 地域の特性をいかした産地づくり

- 第三者認証GAPの取り組みを推進 認証取得経営体【54経営体】【R7実績】
- 営農再開の推進と併せ革新技术実証(7件)の取組や機械・施設整備等による大規模化・複合(品目)化を支援し、作付面積の拡大を推進【R7実績】
・水稲【H22:12,745ha → R7:8,141ha】
・大豆【H22:789ha → R7:482ha】(相馬では震災前の約78%)
・土地利用型園芸作物
タマネギ 【H22: - → R7: 35.8ha】
ブロッコリー 【H22: 145ha → R7: 181.3ha】
ネギ 【H22: 8.5ha → R7: 55.9ha】
- 有利販売や加工用途の生産・販売に向け、生産技術体系の確立や流通・加工施設整備を支援
・効率的な作業や安定した収量確保を実現する「団地・大区画ほ場整備」提案
・加工業務向け農産物生産に特化した生産を担う「法人参入」支援
・相双地方ならではの「経営類型(収支)」の策定
・福島再生加速化交付金等を活用し、農林業施設等整備支援
69.0億円(園芸施設、野菜集出荷施設、複合園芸施設、大規模畜産施設等)
- 耕畜連携の推進に向け「令和7年度相双地方耕畜連携等推進会議」を1/14開催【R7実績】

IV 地域の特性をいかした農山漁村の形成

- 地域共同活動(多面的機能支払制度、中山間地域等直接支払制度)を推進し、農地・農業用水等の保全管理面積の拡大を推進【R7実績】
・多面的機能支払制度の共同活動 113組織(10,148ha)
・中山間地域等直接支払交付金 66協定(1,798ha)
- 森林環境交付金事業活用による森林環境学習の支援
・森林環境学習12市町村【R7実績】